

リフレケア通信 137号

2021年1月 雪印ビーンスターク株式会社
ライフサイエンス事業部 発行

十二支の意味①子(ね)は十二支の一番目の動物でねずみのことです。ねずみは繁殖力が高く、つがいそろえばあっという間に何十匹、何百匹にも繁殖するそうです。そのため、子宝の象徴となることも多い動物で、「ねずみ=子孫繁栄」の意味が込められていると言われていたそうです。

シリーズ第22弾〜3
口腔ケア最前線

当歯科診療所における多職種連携

学校法人東日本学園 北海道医療大学
在宅歯科診療所 歯科衛生士

植木沢美 先生

日本では65歳以上の高齢者が3,500万人を超え、今後さらに医療や介護の需要が増えると考えられます。高齢化が進む中、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられることが重要とされています。

北海道医療大学地域包括センターは2015年12月に、在宅医療に関心を持つ看護師、介護福祉士、薬剤師等の育成教育を第一の目標とし、すでに在宅医療に携わっている看護師、介護福祉士等の研修・研鑽の場の提供を第二の目的として北海道医療大学の附属機関として設立されました。同時に近隣地域で在宅医療のネットワークを作り、地域の方々に利用しやすい訪問看護や居宅介護を提供することを出発点とし訪問看護ステーションと居宅介護支援事業所が開設されました。

当センターの訪問看護ステーションには看護師5名、作業療法士3名、居宅介護支援事業所にはケアマネジャーが2名在籍しています。私が勤務する在宅歯科診療所は、北海道医療大学地域包括センター内に2019年4月に開設されました。介護・医療・保健・福祉の分野で対応できる専門スタッフが配置されています。

在宅歯科診療所が開設されてから訪問看護をするにあたってのケアや治療の相談やケアマネジャーが担当する利用者様の口腔内の困りごとについて検討し、その後訪問歯科診療につながることもあります。その際には詳細な事前情報をお聞きし、必要な際には同行していただくこともあります。一例をあげますと、訪問歯科の存在を知らなかった方が訪問看護ステーションのリハビリスタッフに「実は義歯が壊れたまま使っている」ということを訴えたことから訪問歯科診療につながったこともありました。治療中でも体調や生活状況、近況をうかがうこともでき、患者様の状態を細かく確認することができるのは同じセンター内に事業所がある最大の強みであると考えます。口腔のケアをする際の方法やケア用品の選択について一緒に検討することもできます。少しでも住み慣れた環境で安心して過ごすことができるよう、様々な職種が協働できる環境を更に検討を重ねているところです。

次回もお楽しみに！



北海道医療大学地域包括センターのメンバー

登録無料

雪印ビーンスターク 医療従事者用
資料請求サイト内動画のご案内<https://www.ts-base.jp/logi/beanstalksnow/>

弊社の「医療従事者用資料請求サイト」には、登録者様のみご視聴いただける口腔ケアに関する動画「基本的な口腔ケア」と「糖尿病と口腔ケア」の2本がございます。今回は「基本的な口腔ケア」についてご案内いたします。

①基本的な口腔ケア

ご施設様にお伺いしての勉強会でも大変好評だった内容です。普段口腔ケアをやったことがない方には口腔ケア方法を、通常業務でケアをされている方には復習や新たな気づきになる内容です。個人での勉強はもちろんのこと、グループや院内などでの勉強会にもぜひお使いください。

●メニュー●

基本的な口腔ケア全編(12分10秒)

- ・STEP1 準備
- ・STEP2 ポジショニング
- ・STEP3 心構え
- ・STEP4 口腔清掃
- ・STEP5 マッサージ

口腔ケア用ジェルリフレケアのご案内



ぷち★まめ知識

あけましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になりました。本年もリフレケアシリーズをどうぞよろしくお願いいたします。

日本のお正月といえば、門松やしめ縄、鏡餅、ですね。これらは何のために飾っているのでしょうか？

門松は年神様が降りてくる時の目印として松飾りを立てたのが始まりと言われています。松は神が宿る木と考えられ、竹は長寿を招く縁起物として添えられたそうです。しめ縄は、しめ縄を張った内側は神聖な区域とされ、不浄なものをよせつけない意味合いがあります。鏡餅は神様へのお供え。お正月は神様をお迎えする「行事」だそうです。ちなみに「年神様」とは決まった宗教の神様ではなく、その年の福や徳を司る「歳徳神」や祖先の霊、穀物の神といったいくつもの神様がひとつにまとめられ「年神様」と呼ぶようです。今年も皆様がお元気に過ごせますように(一人)★